

# きらめく夢をこの手に抱いて

## スマイルハートプラン〜障害者(児)支援団体の紹介〜

vol.8

### 「手をつなぎ大きな輪を」

「七尾地区手をつなぎ育成会」は、「手をつなぎ親の会」として昭和32年に発足しました。障害者福祉の向上を提唱した有志の方々と親たちが、通園施設の設置運動を始めたのがきっかけでした。

私たちの活動には、多くの課題があります。親たちは、高齢になると病気になる可能性があったり、障害者もある年齢から身体の機能が低下してきます。

そんな現状の中、障害のある人たちが地域で安心して暮らしていける



療育キャンプで

ように、多くの方々の協力を得ながら活動していかねければなりません。そして、仲間同士の助け合いも必要です。

今、障害者たちは、市のイベントや町の催事に積極的に参加するなど、皆さんの深いご理解に支えられて着実に社会参加への道を歩んでいます。

これからは障害者自立支援法の枠組みを受け止めながら、会員はもちろんな市民の皆さんにも理解を求め、会員の拡大を目指し、活動の輪を大きく広げていきたいと願っています。

この会は、もうすぐ50年の節目を迎えようとしています。今こそ原点に返り、みんなで気持ちを引き締めなくてはならないときだと思っております。

七尾地区手をつなぎ育成会

会長 赤坂 哲夫

本府中町レ部19―3

52―6879

「スマイルハートプラン」とは、笑顔で支え合う、ともに生きる心を重視した「七尾市障害者計画」の通称名です。

12月3日～12月9日は、障害者週間です。～あなたは、こんな光景を見たことはないですか？～

## スマイルさんとハートさんが見たもの

肌寒い雨が降る夕刻、とあるスーパーでのことです。

そのスーパーへは、黄色く彩られた歩道（点字ブロック）が続いています。店の駐車場には、子ども連れのお母さんや夫婦の買い物客がいます。

そんな中に、2台の車が目にとまりました。1台は店の入り口近くの黄色い歩道に車を乗り上げて、止めています。もう1台の車は、入り口に近い車椅子マークの看板がある駐車スペースに止まり、買い物客が足早に店内に入っていました。

歩道では、傘をもたない白い杖を持った方（目が不自由な方）が駐車している車にぶつかり、また、店から離れた駐車スペースでは、車から車椅子を降ろしている人がいます。

スマイルさんとハートさんは駆け出しました。1人は白い杖を持った人のもとへ、1人は車椅子を降ろしている人のもとへ、それぞれが自分の持つ傘と手を差しのべました。

あなたはこんな光景をみたら、どうしますか？



毎日の生活の中で障害のある人もない人も、たとえ、車に障害者マークが付いていなくても、杖を持って歩いていなくても、お互いが思いやりとゆずり合いの気持ちがあれば、その生活はもっと豊かになるのに。



スマイルさん



ハートさん

福祉課（駅前ミナ・クル2階） ☎53-8464